

2026年3月期 第3四半期 決算説明資料



松田産業株式会社
2026年2月13日





本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を負うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

＜お問い合わせ先＞

松田産業株式会社
CSR・IR部

お問い合わせフォーム：<https://www.matsuda-sangyo.co.jp/ja/contact/contact4.html>

決算の概要（2026年3月期 第3四半期）



松田産業株式会社
MATSDA SANGYO CO., LTD.

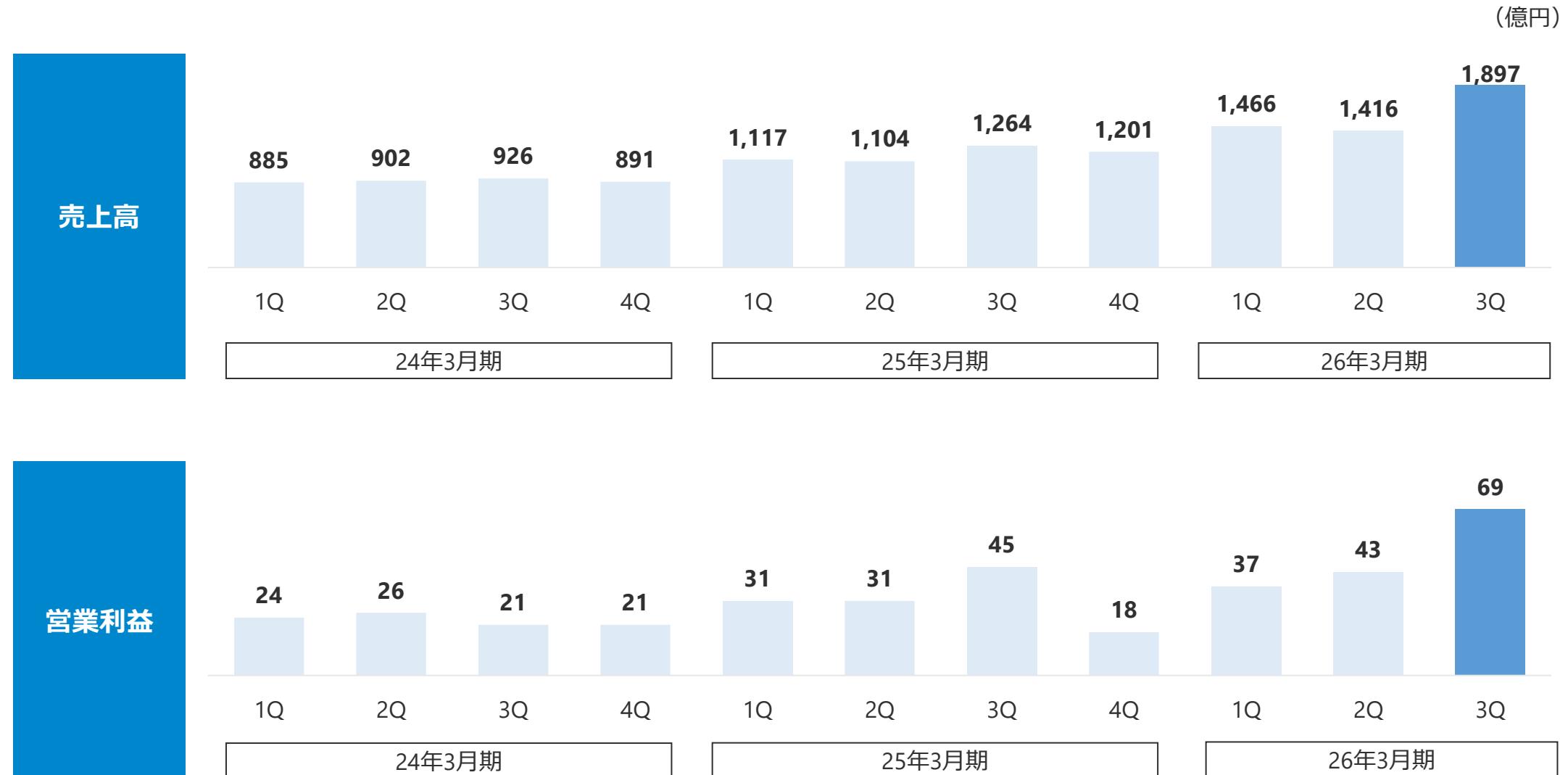
前年同四半期に比べ、売上高と営業利益、四半期純利益ともに増加
 2026年3月期通期の業績予想について、11/4公表値から下記の通り上方修正

(億円)

	25年3月期 3Q実績	26年3月期 3Q実績	増減		26年3月期 通期見通し (2/13公表)
売上高	3,486	4,779	+1,292	+37.1%	6,500
営業利益	108	149	+41	+37.9%	200
営業利益率	3.1%	3.1%	+0.0pt	-	3.1%
経常利益	115	158	+42	+37.3%	210
四半期純利益	80	111	+30	+37.6%	147
1株当たり四半期純利益（円）	311.99	429.85	+117.86	+37.8%	568.84



連結業績の四半期推移





連結貸借対照表

【資産の部】

	25年3月期末	26年3月期 3Q末	増減	(億円) 増減要因
流動資産	1,161	1,496	+334	(+) 受取手形及び売掛金、棚卸資産の増加
固定資産	527	567	+39	(+) 工場設備の新設等
資産合計	1,689	2,063	+374	

【負債の部】

	25年3月期末	26年3月期 3Q末	増減	増減要因
流動負債	486	758	+272	(+) 買掛金、短期借入金の増加
固定負債	201	251	+50	(+) 長期借入金の増加
うち有利子負債	333	532	+199	
負債合計	687	1,010	+322	

【純資産の部】

	25年3月期末	26年3月期 3Q末	増減	増減要因
純資産合計	1,001	1,052	+51	(+) 利益剰余金の増加 (-) 繰延ヘッジ損益の減少
負債純資産合計	1,689	2,063	+374	

自己資本比率

59.1%

50.8%



連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	25年3月期 3Q実績	26年3月期 3Q実績	増減	26年3月期3Q実績の概要
営業キャッシュ・フロー	25	▲140	▲166	(+) 税金等調整前四半期純利益、減価償却費、仕入債務の増加 (-) 売上債権、棚卸資産の増加、法人税等の支払
投資キャッシュ・フロー	▲36	▲25	+10	(+) 定期預金の払戻し (-) 工場設備の新設等
フリー・キャッシュ・フロー	▲10	▲166	▲156	
財務キャッシュ・フロー	5	164	+159	(+) 短期借入金、長期借入金の増加 (-) 配当金の支払
現金及び現金同等物の増減	▲3	▲3	▲0	
現金及び現金同等物の期末残高	141	110	▲30	



セグメント別の業績（貴金属関連事業）

- エレクトロニクス業界の電子デバイス分野は、EV向けの生産停滞が続いた一方で、AIサーバーやデータセンター向けの旺盛な需要が全体を牽引
- 半導体・電子部品等の生産は緩やかな回復基調で推移
- 宝飾分野を含めた貴金属リサイクル取扱量の増加に加え、貴金属相場の大幅な上昇が影響し、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ増加

(億円)

	25年3月期 3Q実績	26年3月期 3Q実績	増減		26年3月期 3Q実績		増減	増減要因
売上高	2,662	3,867	+1,205	+45.3%	金	3,007	+981	+48.4% 数量要因+4.9%、価格要因+43.5%
営業利益	87	122	+34	+39.9%	銀	242	+57	+31.0% 数量要因▲3.0%、価格要因+33.9%
営業利益率	3.3%	3.2%	▲0.1pt	-	白金族	452	+146	+47.8% 数量要因+16.0%、価格要因+31.8%
					その他	164	+20	+13.9%



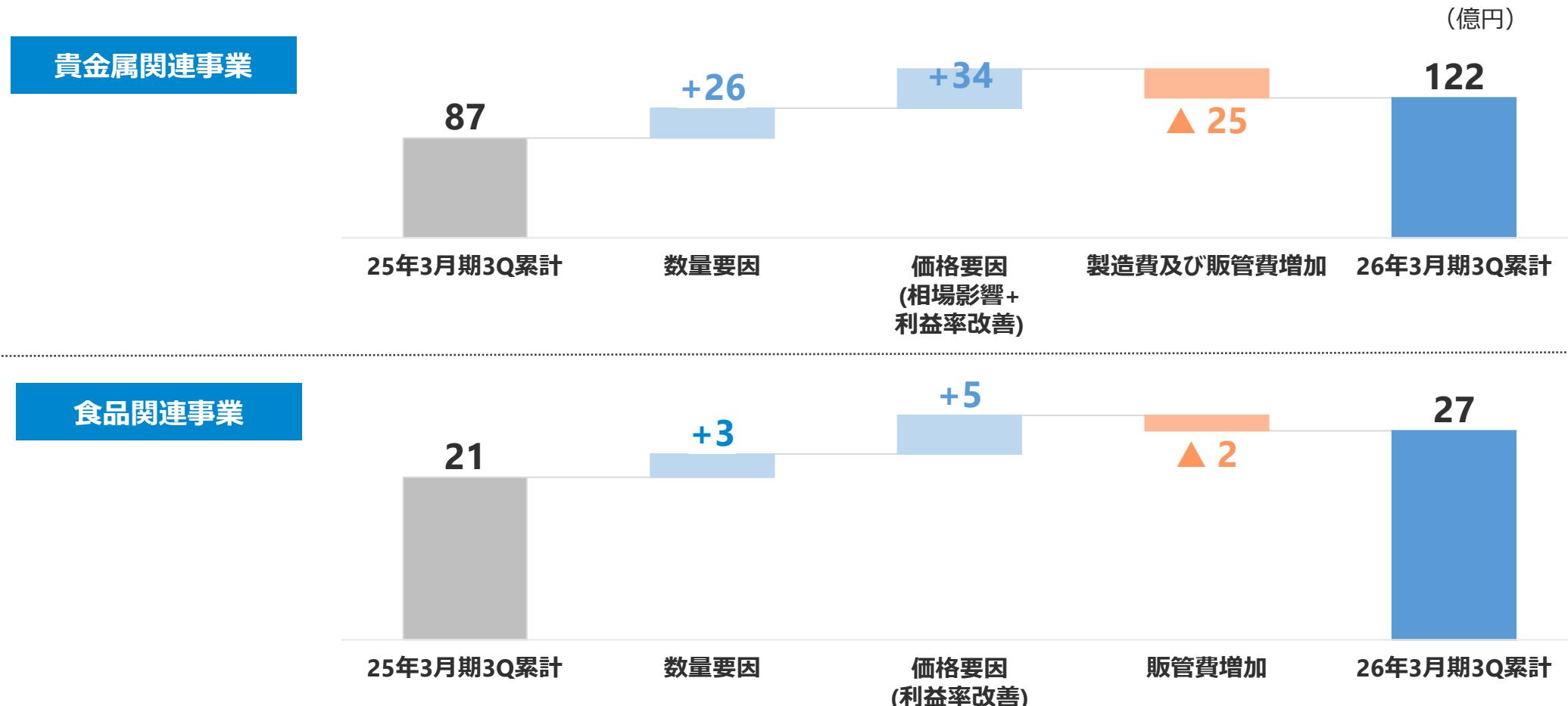
セグメント別の業績（食品関連事業）

- 食品製造業界は、原材料価格の高騰を背景とした物価高により、個人消費における節約志向が一段と強まり、慎重な購買姿勢が継続
- 水産品の販売量は減少したものの、畜産品、農産品の販売量増加や販売価格の上昇により、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ増加

	25年3月期 3Q実績	26年3月期 3Q実績	増減		(億円)				
	25年3月期 3Q実績	26年3月期 3Q実績			26年3月期 3Q実績	増減	増減要因		
売上高	824	912	+87	+10.6%	水産品	364	+28	+8.4%	数量要因▲0.7%、価格要因+9.1%
営業利益	21	27	+6	+29.5%	畜産品	370	+40	+12.4%	数量要因+5.6%、価格要因+6.8%
営業利益率	2.6%	3.0%	+0.4pt	-	農産品	111	+4	+4.2%	数量要因+3.7%、価格要因+0.6%
					その他	66	+13	+26.8%	

○ 営業利益の増減

- 貴金属関連事業：貴金属相場の大幅な上昇が増益に影響。電子デバイス分野の緩やかな数量改善および宝飾分野での数量増加は継続。
- 食品関連事業：畜産品・農産品の販売量増加に加え、顧客ニーズを捉えた商品販売の増加、価格転嫁などで利益率が改善し増益に貢献。



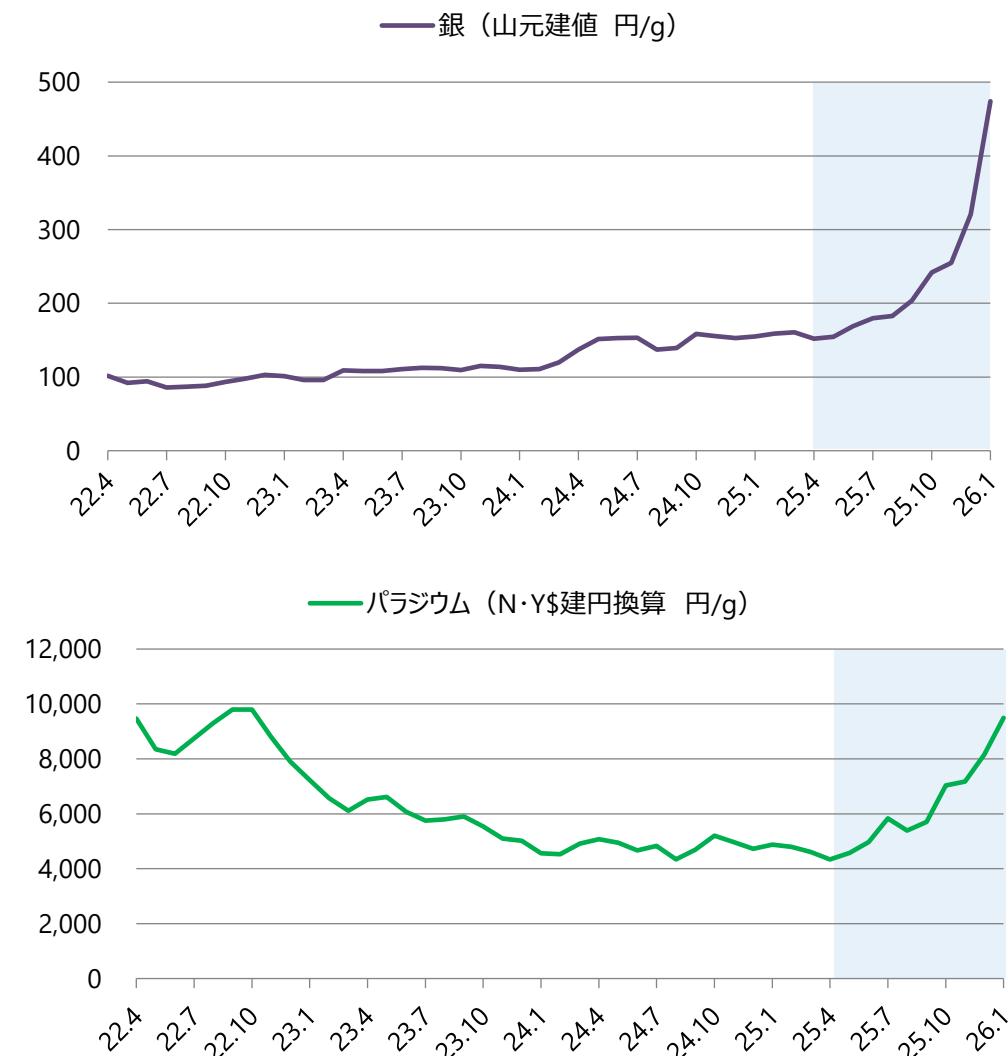
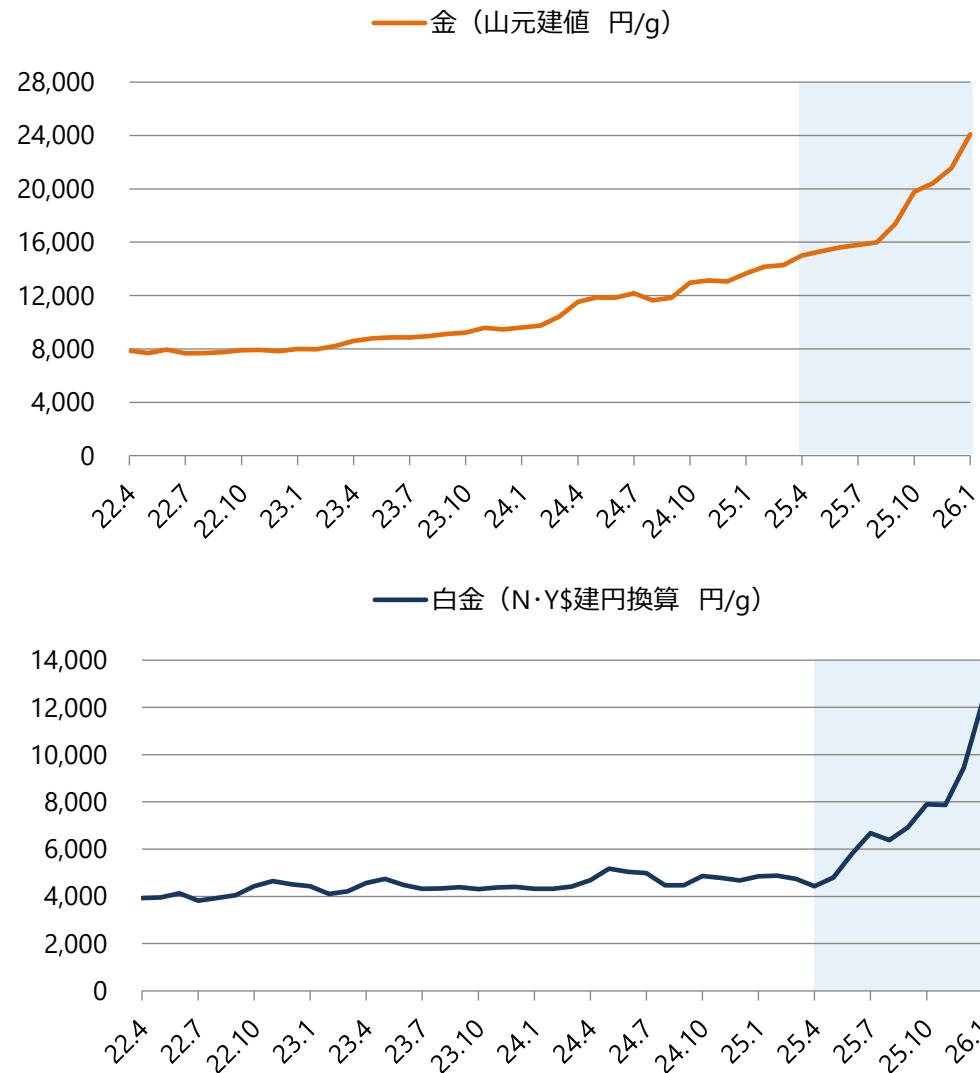
Appendix



松田産業株式会社
MATSDA SANGYO CO., LTD.



貴金属相場の推移





松田産業株式会社
MATSDA SANGYO CO., LTD.